



児玉 康比古 議員
(一問一答方式)

- ① 閉校となつている施設の利用
- ② 市民スポーツの推進
- ③ 平成27年度一般会計当初予算
- ④ ノー残業デー

閉校となつている施設の利用について

問 閉校施設の活用は、地元で検討されている計画と民間事業者等の活用を同時進行で行い、一日も早く推進すべきだと考えるが、どのように進めているか。

答 閉校施設の活用については、大洲市小学校閉校施設活用基本方針で閉校施設の活用手順を定めています。基本的には、地域の意向を尊重するため地域における利用を最優先としています。この基本方針を策定する以前より本市のホームページで閉校施設の紹介をするとともに、文科省のホームページに当市の閉校施設の情報掲載し、各地域における活用を検討と並行して全国でもこの閉校施設の情報が見えられるように、

活用が望まれる閉校施設（閉校した小学校施設）



情報を発信してアイデアの募集をしているところです。民間企業等から問い合わせや照会があった場合は随時地域へおつなぎし、その内容について地域で検討協議をいただいています。地域での検討と民間事業者の活用については、並行して対応するのが適当であると考えています。

閉校施設が地域の活性化につながる拠点となり、多くの方が活用できるように、関係機関が連携し、少しでも地域のプラスになるような行動がとれるよう進めたいと考えています。

市民スポーツの推進について

問 平成29年に開催されるえひめ国体では、八幡浜・大洲地区

運動公園においてソフトボール成年男子、ソフトテニス成年男女競技が開催されるが、施設整備のスケジュール及び進捗状況はどうなっているのか。

答 現状での進捗状況は、平成25年度の上段テニスコート2面の改修に続き、平成26年度には下段テニスコート6面を8面に2面増設し、さらに照明設備の改修を行っており、間もなく完成の予定です。そのほか、老朽化の進んでいた管理棟の解体工事を行ったほか、メイン駐車場整備及び管理棟前園路拡幅工事についても現在施工中です。今後のスケジュールは、平成27年度に、既に解体している管理棟の改築工事のほか、野球場の改修、自由広場への防球フェンス設置、不足する駐車場対策として陸上競技場前広場を駐車場として整備する予定とされています。また、平成28年度では下段テニスコート下のトリムコース跡地を新たに駐車場として整備するほか、歩道の段差解消や側溝蓋の設置など園路整備を計画しているところですが、平成27年度以降の国の配分予算の状況によって改修時期の見直しを行う場合があります。

問 がんばるひと応援事業についての審査方法及び実施後の検証方法について伺いたい。

答 がんばるひと応援事業は、地域の課題解決や一体的かつ自立的発展のために、頑張り魅力的な地域づくり事業を実施する団体等を応援するため、200万円を限度に補助対象経費の10分の9を助成する制度として、平成22年度に創設し、今年度までに77件の事業を採択しています。事業の採択に当たっては、審査委員会を開催し、その申請内容について協議審査を行っています。審査委員は、大洲商工会議所などの各代表者から指名された方々及び有識者2名と市職員1名の、計9名で構成されており、任期は2年としています。

また、実施後の検証方法は、実績報告書の中で自己評価による検証のほか、担当者による事業成果等の確認を行っているところです。今後においては事業成果報告を実施するなど、地域づくり団体の育成及び団体間交流、事業のブラッシュアップを行うことで団体の自立及び立ち上げた事業を継続していく仕組みづくりの支援が行えるようにしていきたいと考えています。

平成27年度一般会計当初予算について